

平成 20 年 12 月 9 日

千葉市環境保全推進課 御中

小山町観音地 森の復元作業（子供向けイベント）実施報告書

千葉県自然観察指導員協議会
担当指導員 綾 富美子

主催：森を守り育てる会

後援：千葉市

運営：千葉市板倉大椎土地改良区/ 緑の環・協議会

協力：千葉県自然観察指導員協議会

日時：平成 20 年 12 月 6 日（土）9:30-13:00

天候：晴れ

場所：千葉市緑区小山町 291-1,292 他

テーマ：森の復元作業・・・ドングリを撒いて育ててみよう

森の堆肥場づくり・・・落ち葉を集めてこよう

千葉県自然観察指導員：綾 富美子 須田 聡恵 武田宏子

参加者：56 名（大人 29 名、子供 27 名）

30 名（関係者）

合計 86 名

実施内容：9:30 集合—9:45 出発—10:10 昭和の森疎林広場でドングリや落ち葉を集める、縄文遺跡に触れる—10:50 昭和の森出発—11:10 小山町観音地到着—11:20 落ち葉のプールで遊ぶ—11:40 持ち帰り用ポットに土を入れドングリを撒く、被爆アオギリ 2 世の植樹—12:00 記念撮影—12:00 昼食、紙芝居（日本熊森協会千葉県支部の皆さん）—13:00

解散

参加者の様子：子供達は昭和の森に行く途中の道すがらでも大きなサルノコシカケや畑のハヤトウリを触ったり真黄色の落ち葉の中から銀杏を見つけたりと楽しそうでした。昭和の森では夢中でドングリを捜したり大きな熊手を振りかざして落ち葉を集めていました。

観音地に帰ってからも落ち葉のプールで嬉々として遊び、堆肥を積んだ山が気に入ったのかいつまでも登ったり降りたりしていました。

参加者の感想：子供達も保護者からも、又是非参加し協力したいとの事でした。

指導員の感想：まだ小さな子供達には「森の再生のお手伝い」と言っても理解するには時間と学習が必要ですが泥で汚れたり枯葉まみれになっても元気に遊んでいる様子を見ると自然との触れ合いが子供達にはとても大切な事と痛感した。

小山町観音地 森の復元行事



皆さんおはようございます スタート前の挨拶



観察会の前に芋を焚き火に入れ焼き芋作り



ほら あそこに大きなきのこが！



サルノコシカケ？ お猿さんがすわるのかな



冬の赤いデザート「フユイチゴ」を食べてごらん



満開の白いサザンカを観察する



縄文時代の遺跡「住吉遺跡」について説明を受ける



ほらここに大きなクヌギのどんぐりが！



みんなで落ち葉を集めて堆肥作りに協力しましょう



ほら もう少しで一杯よ



昭和の森で集めた落ち葉を観音地まで運びます。



落ち葉って思ったより重いのね



スタッフの皆さんが作ってくれた落ち葉プールで楽しく遊ぶ参加者の子どもさんたち



拾ってきたドングリをポットに植えて育てましょう みんな揃っての記念撮影 今日は楽しかったね

